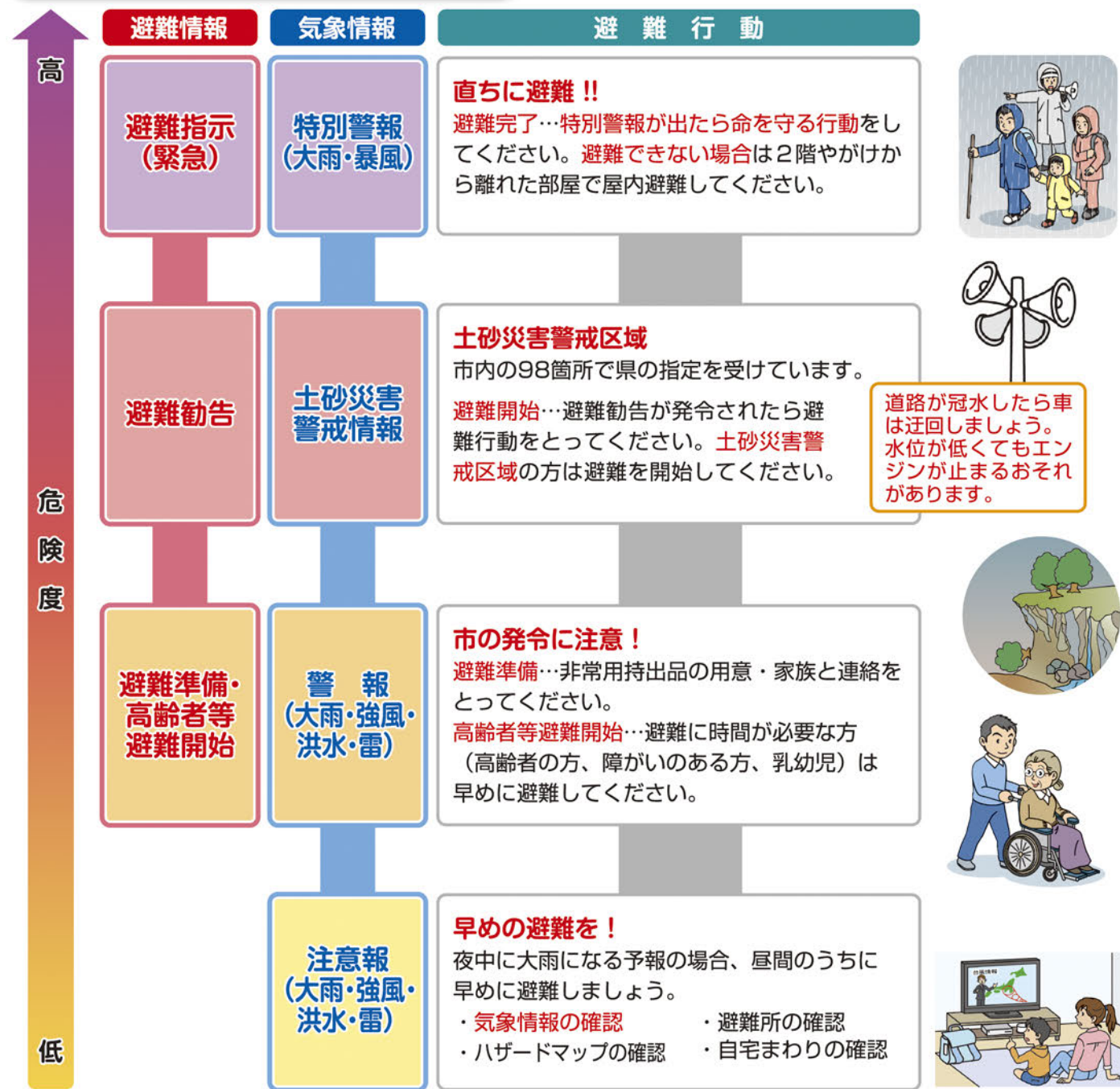


# 風水害時の避難行動

## 避難情報について

避難情報には、**避難準備・高齢者等避難開始** **避難勧告** **避難指示(緊急)** の3つがあります。避難情報が発令されたら、必ず指定避難所が開設されます。避難情報と自分たちの状況等を踏まえ、落ち着いて行動してください。

## 台風だ！その時どうする？



### 「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。

- 特別警報は、これまでにない危険が迫っていることをお知らせします。
- 数十年に一度の大雨などが予想された場合に特別警報を発表します。
- 尋常でない大雨が予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。
- 命を守るために情報の収集に努めてください。

# 洪水から身を守る

## 避難行動に備えて

### 1 自分の住んでいる地域を再確認

- 川の堤防の脇、川からどのくらい離れているか、低地で水がたまりやすいか等をハザードマップで確認しましょう。
- 自宅はどれくらい浸水するのか、避難所に行く避難経路は浸水するのか等を確認しましょう。
- 自宅の標高などを、事前に調べておきましょう。

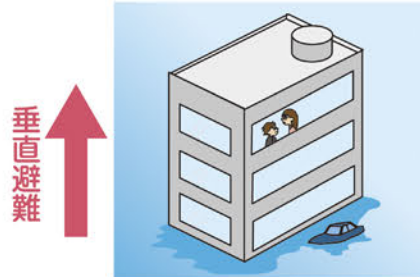


### 2 雨が降り出したら気象情報と河川情報に注意する

- 大雨警報、記録的短時間大雨情報、特別警報、指定河川洪水予報等に注意しましょう。
- 洪水は上流で降った雨でも発生するので、上流の雨量にも注意が必要です。

### 3 避難情報が出たら早めの避難

- 避難情報が出たら、指定された緊急避難場所、避難所等に避難してください。
- もしも、夜間に降り出した雨等で、避難することが危険な場合は、自宅の2階又は近くの高い丈夫な建物に避難する等、屋内での安全確保措置(垂直避難)をしてください。



## 避難時の危険箇所

避難場所までの路上には、いろいろな危険が潜んでいます。日頃から身の回りの様子を観察し、大雨のときに危険な場所を確認しておきましょう。

### 避難時には水の流れに注意

- 避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。
- 洪水の際は地面の状況がわかりづらくなりますので、長い棒状のもので地面を探りながら歩くなどして、側溝や排水路に転落しないように注意してください。



### 地下施設、マンホールに注意

- 大雨時は地下室に水が流れ込む、または水圧でドアが開かなくなるなどの危険がありますので、入室を避けると同時に、早めに地上階へ避難してください。
- 大雨によりマンホールのふたが外れることがあります。危険ですので近寄らないでください。



洪水から身を守る